



お祝いの言葉

顧問

社会医療法人 蘇西厚生会
松波総合病院理事長
松波 英寿先生

NSKの総会の開催、おめでとうございます。

心からお祝い申し上げます。この会は、設立後6年を迎え、益々のご盛会を心からお慶び申し上げます。

ご承知のこととく、本邦は世界に類を見ない少子高齢化社会に突入しています。なぜ、少子高齢化が問題になるかと言え、少子化により16歳から65歳の、いわゆる働き手が減少する一方、医療・福祉等が進歩したため高齢まで生存する方が増加し、結果として少数の若年者が多数の高齢者を支えなければならなくなるからです。たまたま、「このまま将来も日本の社会が維持できるのだろうか?」と不安になるわけです。

この問題の根本的解決は、出生率を向上させることですが、現在の日本の出生率は約1.4です。これは父親、母親の2人の成人から1.4人しか生まれないことを意味しています。同じ人口を維持するには2以上の出生率が必要ですが、多くの先進国は出生率の低下に苦しんでいます。開発途上国の人口は増加しますが、先進国は必然的に少子化を招くのです。世界のなかで、最も深刻なのが、先進国である我が国なのです。



新体制2年目を迎えての抱負

理事長

早川 真

新体制になり1年、総会を迎えることができました。

組合員皆様のお力添えがあると感謝しております。本当にありがとうございます。今年も昨年同様、私の協会運営の基本は、迷わない情報提供と柔道整復師の地位向上です。社会に対し、規則に基づいた裏表のない業務遂行を



柔道整復師は国民のために

副理事長

吉田 友和

平成28年5月22日、第6回協同組合NSK保険協会定時総会を組合員のみなさまのご協力のおかげを持ちまして無事終了することができました。ありがとうございました。

前年度と同様、組合役員としてより会員の立場に立った運営に努め、互助精神のもとお互いの資質向上のための学術研修会および適切な保険請求、施術録などの事務の業務の指導などを実施してまいります。

学術研修会につきましては、協会ホームページ会員専用ページにて前回の学術研修会で行なわれた内容をご覧いただけるようになりました。

今後も組合員同士の親睦・情報交換の場として、NPO法人NSK事業推進＆スポーツ科学協会と協力し、地域の医療・健康・福祉をサポートするプロ集団と



会員同志の助け合いと団結で

専務理事

水野 清志

盛夏の候、会員の皆様にはいつもご活躍のこととお慶び申し上げます。

先日行われた第6回協同組合NSK保険協会定時総会も皆様のお力添えで無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。そして、特別講演では

第1回 柔道整復師連絡協議会に参加してきました

日時：平成28年5月13日(金) 18:00～19:00

場所：衆議院第2議員会館 地下1階「第7会議室」

内容：一般社団法人全国柔道整復師連合会主催の第5回社会保障審議会医療保険部会柔道整復療養費検討専門委員会の報告がありました。それに対する全国の保険協会の意見交換会でした。近いうちに改正があるような情報はありませんでした。

理事長 早川 真

柔道整復師小委員会に参加してきました

日時：平成28年5月12日(木) 17:00～18:00

場所：参議院議員会館

内容：柔道整復師小委員会に参加して参りました。小委員会では「急性・亜急性」と「急性期・亜急性期」の違いの明確化、行き過ぎた保険者による返戻・不支給への指導、柔道整復師学校養成施設カリキュラムに介護関係の内容を追加、医科と同様の傷病名への変更等を要望致しました。今後も柔道整復師の地位向上の為に積極的に参加し発言してみたいと考えております。

専務理事 水野 清志

学術研修会のご報告

日時：平成28年3月13日(日) 10:00～12:00
会場：雲竜FLEXビル西館3階 300号室
講師：みどりクリニック チーフトレーナー 百済はつえ氏
「障害における機能評価に基づいたトレーニングプログラムの立案」



○第38回 読売犬山ハーフマラソン 平成28年2月28日(日)

9:45 スタート 名説犬山総合運動場 愛知県犬山市大字羽黒字三反田



○春のメディコスまつり 平成28年5月7日(土)～8日(日)

みんなの森ぎふメディアコスモスのイベント「春のメディコスまつり」に参加、NSK事業推進＆スポーツ科学協会のマラソンでの活動様子を紹介させていただきました。マラソン大会でランナーのボディケア、アドバイスなどしている姿をバーナル展示しました。短い時間ですが、柔道整復師による簡単ケアを約500円で体験できるワークショップも行いました。ケアを受けた多数の方々に、カラダが楽になりました!と喜んで頂きました。



○第6回 高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン 平成28年5月15日(日)

9:05 スタート 岐阜メモリアルセンター 岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28
第6回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソンが、岐阜メモリアルセンターを発着点に開催されました。13,000人のランナーが、初夏の金華山・岐阜城、古い街並み、清流長良川沿いのコースを思い思いの走りで楽しみました。コースの沿道では、多くの市民が暖かい声援を送っていました。ランナーは、「Qちゃんスマイル」の褒美をいっぱい貰いました。我々NSKのボランティアメンバーは、ゴールされたランナーのケアと体調管理などアドバイス。我々もQちゃんパワーを頂きました。

広報担当より ●無料配布いたしました瀬戸口芳正先生による特別講演DVDは大変ご好評いただいております。是非ご覧下さい。
お知らせ ●NSKホームページ「組合員の方」ページに3月実施の勉強会「障害における機能評価に基づいたトレーニングプログラムの立案」をアップしました。

本邦の出生率を向上させるためには、社会システムの根本的変革等が必要で、多大な費用と時間がかかり、おそらく近未来的には無理でしょう。ではどうしたらいいか、それは高齢者が今後も働き、社会に貢献できるシステムを作るしかない。一方、高齢者は足腰が弱り、腰痛、肩の痛み等を常に抱えるのが必ずです。これらの対応に医師により鎮痛剤の投与、あるいはハビリテーション等が行われていますが、これらに使われる医療費は年々増加の一途です。これでは医療そのものがぶつぶつになります。そこで、柔道整復師の出番が来るわけです。

日本の柔道整復師の方々が行う施術は、その非常に高い技術・得られる良好な結果に比し、柔道整復師の方々が得られる診療報酬は低く抑えられています。これは、柔道整復師の方々にとって不利益なことですが、国民にとっては大きな利益ともいえます。したがって、所謂整形外科的な医療費の伸びを抑えて、高齢者の方々の足腰の要求をいかに解決するかが、柔道整復師の方々にかかっているわけです。

さて、近年の柔道整復師の養成校の極端な増加により柔道整復師が激増したため、柔道界の市場競争が激しくなっています。こうした背景の下、昨年、東京の柔道整復師の不正請求が発覚し、柔道整復師に対する社会の見方は決してよいものではありませんでした。しかし、前述のごく、今後の日本にとっては、益々柔道整復師の方々の存在価値は高くなると思われる所以、NSKの会員の皆さんには、全うな業務を行っていただきたいと思います。

「明日の日本を支えるのは柔道整復師だ」という、自覚とプライドを持って、日々の業務に励んでいただきたいと思います。

先生方の益々のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉をさせていただきます。

NSK

KAIHOU NO.14

東海北陸厚生局認可 協同組合NSK保険協会

〒500-8241 岐阜市領下6丁目85-2 TEL.058-248-0083 / 050-3386-3672 FAX.058-247-5565
E-mail: honbu@nsk-hk.co.jp URL: http://www.nsk-hk.co.jp

印刷・製本 / 松波印刷株式会社

第6回 協同組合NSK保険協会定時総会

平成28年5月22日(日) 11:00～15:00
於：みんなの森ぎふメディアコスモス みんなのホール

式次第

1. 開会の辞
2. 理事長挨拶
3. 相談役挨拶
4. 来賓挨拶
5. 議案

議長選任

第1号議案 平成27年度事業報告、財産目録
貸借対照表、損益計算書及び
剩余金処分案承認について

監査報告

第2号議案 平成28年度事業計画(案)
収支予算(案)について

6. 質疑応答

7. 組合員紹介者に対しての功績表彰

8. 閉会の辞

9. 賛助会員プレゼンテーション

昼食

10. 特別講演

「投球障害治療の最近のコンセプト」
医療法人MSMC みどりクリニック
院長 瀬戸口 芳正先生

瀬戸口 芳正先生

賛助会員交流

瀬戸口 芳正先生

瀬戸口 芳正先生